

光の除菌で空気すっきり

紫外線ランプで一般の細菌を除去・ウイルスを抑制し、
クリーンな環境をつくります。

エアエリアは、室内の空気を取り入れて紫外線ランプで菌を抑制し、清潔な空気を送り出す除菌装置です。紫外線ランプは装置内部に組み込みのため安全で、また床置き仕様なので簡単に設置や移動が行えます。



皆様方にはいつもマスク着用のご協力を
いただき、ありがとうございます。
少しでも安心できる待合室を目指して、
「エアエリア」を導入しました。

■試験結果

(CASE 1: 細菌について)

試験回数	UV機能OFF 除菌前 (CFU/50L-Air)	UV機能ON 除菌後 (CFU/50L-Air)	除菌率 (%)
1回	1.2×10^4	<1	>99.9
2回	7.1×10^3	<1	>99.9
3回	2.2×10^4	<1	>99.9
4回	1.1×10^4	<1	>99.9
5回	4.8×10^3	<1	>99.9
平均	1.1×10^4	<1	>99.9

実施条件 ●評価方法: 1バス処理試験 ●使用装置: エアエリア<30Wタイプ>紫外線ランプ(GL30) 1灯 ●風量: 約1m³/min ●使用菌: MRSA(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌) ●試験依頼先: (一財)北里環境科学センター(報告書番号:北生発17.0132_1号)

試験概要 試験装置は、ダクト上流側で噴霧された菌液ミストを含む気流を内部に通過させた後、ダクト下流側で回収。1バス試験装置のダクト上流側に菌液噴霧装置を設置し、ダクト下流に浮遊菌回収装置を設置。ダクト内の風速は約0.4m/sに調整し、上記の各試験条件で試験品を稼働。

(CASE 2: ウイルスについて)

感染力値の単位: (log) TCID₅₀/ml

評価方法	エアエリア通過前 回収ウイルス感染力値	エアエリア通過後 回収ウイルス感染力値		感染力値低下率 (%)
		UV機能非作動時	UV機能作動時	
試験ボックスを用いた 1バス処理	6.87~7.03	5.93	2.13	99.9842
		5.93	<1.50	>99.9963
		5.47	<1.50	>99.9892

実施条件 ●評価方法: 試験ボックスを用いた1バス処理試験 ●使用装置: エアエリア<30Wタイプ> 紫外線ランプ(GL30) 1灯 ●風量(強): 約1.7m³/min ●試験対象: ウイルス ●試験依頼先: (学)北里大学北里研究所メテオカルセンター病院研究部門 医療環境科学センター(試験番号:00919)

試験概要 装置のIN側とOUT側に独立した2つの試験ボックスを配置し、ネブライザーにて一定濃度に調製したウイルスをIN側試験ボックスに噴霧した後、UV機能作動時(紫外線ランプON)、非作動時(紫外線ランプOFF)のそれぞれでOUT側試験ボックスにて、インピンジャーを用いてウイルスを回収、細胞変性効果を観察し、ウイルス感染力値を測定した。